

# 政策2

元気で健やかに暮らせるまち

<健康福祉分野>

---

---

**政策 02 元気で健やかに暮らせるまち**

**施策 01 地域福祉の推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	地域で助け合い、支えあいができる環境が整っています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	地域で手助けしたり、されたりする環境が整っていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																								
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	46.5	51.2	53.8	➔	☀ (向上)																							
評価	<p>(状況) 平成29年度は53.8%で、平成28年度より2.6ポイント増加、後期基準値より7.3ポイント増加しています。                      (原因) 支えあいができていると思う割合は、年齢別・地区別とも全体的に増加傾向にありますが、地区別では特に桜木・栄・明月・宮内・八幡・町前地区が、平成28年度と比較すると増加しています。様々な被災者支援事業の実施により、東日本大震災で津波被害を受けた地域において、住民間のコミュニティが回復し、地域における支えあい機能が向上してきたことが要因と考えられます。</p>				<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>46.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>51.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>51.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>53.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>53.8</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	46.5	-	H27	51.2	-	H28	51.2	-	H29	53.8	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	53.8	目標 達成度  👑 (達成)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																															
H26	46.5	-																															
H27	51.2	-																															
H28	51.2	-																															
H29	53.8	-																															
H30	-	-																															
H31	-	-																															
H32	-	53.8																															

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

基本事業 02 多様な地域福祉活動の推進

基本事業 03 地域で見守りあう仕組みづくり

基本事業01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

指標①	福祉活動に取り組む意識がある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	59.8	54.4	56.9	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は56.9%で、平成28年度より2.5ポイント増加、後期基準値より2.9ポイント減少しています。                  (原因) 「よく行っている」、「時々行っている」、「今後行ってみたい」との回答は全体の50%以上を占めています。特に30代から60代の世代で「今後行ってみたい」割合が高い傾向にあり、地域の福祉活動への関心は高いものの、就労などにより活動時間の確保が難しいことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

指標②	この1年間に福祉活動に取り組んだことがある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	11.8	14.5	15.7	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は15.7%で、平成28年度より1.2ポイント増加、後期基準値より3.9ポイント増加しています。                  (原因) 65歳以上の年代で福祉活動を行っている割合が高くなっており、年代とともに高まる傾向があります。20歳から64歳までの世代は、活動時間の確保が難しい年代と考えられるため、全体的な指標は微増にとどまったものと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業02 多様な地域福祉活動の推進

指標①	福祉活動を行っている団体・事業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	社会福祉課	団体	189	195	199	220
評価	<p>(状況) 平成29年度は199団体で、平成28年度より4団体増加、後期基準値より10団体増加しています。                  (原因) 高齢化に伴う介護サービスや障害者の自立と社会参加を支援する障害福祉サービスへの需要が増加したため、介護保険関係事業者(介護サービス提供事業者など)や障害者福祉関係事業者(放課後等デイサービスなど)が増加したことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業02 多様な地域福祉活動の推進

指標②	民生委員・児童委員の年間平均活動日数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	社会福祉課	日/年	143	152	154	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は154日で、平成28年度より2日増加、後期基準値より11日増加しています。                  (原因) 高齢化社会の進展等により介護保険や健康・保健医療に関する相談件数が増えており、日々の生活を営む上で、様々な心配事や将来への不安を持つ方が増えてきていることが要因と考えられます。</p>								--- 目標達成度 ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 地域で見守りあう仕組みづくり

指標 ①	良好な近所づきあいができている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	—	46.7	50	→
評価	(状況) 平成29年度は50%で、平成27年度より2.2ポイント、平成28年度より3.3ポイント増加しています。 (原因) 近所づきあいができているとする割合は年齢が上がるにつれて増える傾向にあり、特に60歳代で増加しています。コミュニティ活動への時間の確保が比較的可能な年代を中心として、互いを支え合う仕組みが徐々に根付いてきていることが要因と考えられます。								

基本事業03 地域で見守りあう仕組みづくり

指標 ②	日常生活における見守り協定を締結している事業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	社会福祉課	件	2	5	7	8
評価	(状況) 平成29年度は7件で、平成28年度より2件増加、後期基準値より5件増加しており、後期目標値達成に向け順調に推移しています。 (原因) 企業のCSR(社会的責任)に対する関心の高まりにより、企業側から理解や協力を得られていることが要因と考えられます。								

基本事業03 地域で見守りあう仕組みづくり

指標 ③	災害時において要援護者を見守り合う仕組みがある地域割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	社会福祉課	%	23.4	38.3	36.2	50
評価	(状況) 平成29年度は36.2%で、平成28年度より2.1ポイント減少していますが、後期基準値より12.8ポイント増加しています。 (原因) 平成28年度に作成した「避難行動要支援者支援プラン」や活動事例集の配布等の実施が要因と考えられます。一方で、平成28年度より減少しているのは、地域における連携体制の整備や個人情報の取扱いに対する理解などが進みにくいといった現状も要因と考えられます。								



**政策 02 元気で健やかに暮らせるまち**

**施策 02 健康づくりの推進**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	市民が健やかに育ち、健康に暮らしています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	自分が健康だと思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	76.2	78.8	75.8	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は75.8%で、平成28年度より3.0ポイント減少、後期基準値より0.4ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。                      (原因) 50歳代を除く各年代で健康だと思う割合が減少していることから、体力や疾病ばかりではなく、ストレスなどの精神的な健康不安も要因と考えられます。</p>								目標 達成度  ■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活習慣の改善
基本事業 02 疾病予防・早期発見・早期治療の推進
基本事業 03 母子保健の充実
基本事業 04 食育の推進
基本事業 05 医療体制の充実

基本事業01 生活習慣の改善

指標①	健康に良い生活習慣の平均実践項目数（全12項目中）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	項目	5.2	5.61	5.89	→	 (横ばい) 目標達成度  (達成)
評価	(状況) 平成29年度は5.89項目で、平成28年度より0.28項目増加、後期基準値より0.69項目増加しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 各年代ともに増加傾向にありますが、65歳以上の平均実践項目数が7.39項目、65歳未満の平均実践項目数が4.91項目となっています。健康に良い生活習慣を意識し実践している高齢者が増えていることが要因と考えられます。									

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療の推進

指標①	1年に1回健康診断を受けている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	76.9	80	80.6	→	 (横ばい) 目標達成度  (達成)
評価	(状況) 平成29年度は80.6%で、平成28年度より0.6%ポイント増加、後期基準値より3.7%ポイント増加しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 40歳代以上の各年代は80%以上の高い割合で順調に推移しており、20歳代及び30歳代での割合も約60%から70%まで向上してきています。若い年代でも疾病の予防、早期発見、早期治療の大切さが広く理解されてきていることが、要因と考えられます。									

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療の推進

指標②	がん検診を受けている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	57.1	56.1	58.7	→	 (横ばい) 目標達成度  (中)
評価	(状況) 平成29年度は58.7%で、平成28年度より2.6%ポイント増加、後期基準値より1.6%ポイント増加しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 50歳代以上の各年代でがん検診を受けている割合が65%を超え順調に推移しており、20歳代及び30歳代の割合も徐々に向上してきています。若い年代でもがん検診への関心が高まってきていることが要因と考えられます。									

基本事業03 母子保健の充実

指標①	乳幼児健診の平均受診率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	93.6	96.9	97.1	→	 (横ばい) 目標達成度  (達成)
評価	(状況) 平成29年度は97.1%で、後期基準値より3.5%ポイント、平成28年度より0.2%ポイント増加しています。 (原因) 全ての乳幼児健診の受診率において後期目標値を上回っており、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査においては全国や県の平均を上回っています。未受診者対策の見直しを実施しており、特に平成27年度以降はハガキ、電話、訪問による受診勧奨を毎月実施していることが、要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 母子保健の充実

指標②	3歳児健診受診者1人当たりのむし歯本数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	健康課	本	0.89	0.85	0.65	0.8	 (向上)  目標達成  (達成)
評価	<p>(状況) 平成29年度は0.65本で、平成28年度より0.2本減少、後期基準値より0.24本減少し、後期目標値を達成しています。            (原因) 3~4か月児健診での健康教育や、平成28年度より開始した1歳児育児体験事業(1歳児come☆かむ広場)における歯磨き指導や1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診でのフッ素塗布等において、乳幼児期からの歯の健康の重要性を伝えることで、歯科保健の大切さが浸透してきたことが要因と考えられます。</p>									

基本事業03 母子保健の充実

指標③	1歳6か月児健診の四種混合、麻しん、風しんワクチンの終了者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	92.8	95.7	95.8	95	 (横ばい)  目標達成  (達成)
評価	<p>麻しん、風しんワクチンの定期接種期間は1歳以上2歳未満です。            (状況) 平成29年度は95.8%で、平成28年度より0.1% 増加、後期基準値より3.0% 増加し、後期目標値を達成しています。            (原因) 全ての対象者に予防接種手帳を送付するとともに、未接種者に対しては、各種健診時等において接種勧奨を行っていることが要因であると考えられます。</p>									

基本事業03 母子保健の充実

指標④	出産後の支援について満足している者の割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	—	86.4	88.1	→	 (横ばい)  目標達成  (達成)
評価	<p>(状況) 平成29年度は88.1%で、平成27年度より0.6% 増加、平成28年度より1.7% 増加しています。            (原因) 出産後の主な支援として実施している新生児訪問の実施率が99.3%と高いことや、産前産後サポート事業を平成29年度から開始したことで、妊娠期から乳児期の不安解消や産後のイメージづくり等の支援充実が要因と考えられます。転出入が多い本市では、孤立しがちな産後間もない時期への支援ニーズは高いため、継続的な取組に今後も努めます。</p>									

基本事業03 母子保健の充実

指標⑤	1歳6か月児健診の経過観察者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	健康課	%	33.8	35.2	28.3	41	 (向上)  目標達成  (達成)
評価	<p>(状況) 平成29年度は28.3%で、後期基準値より5.5% 増加、平成28年度より6.9% 増加しています。            (原因) 幼児期への移行期である1歳児の親へ具体的な接し方の理解と実践を通して子どもの健やかな成長発達を促すことを目的とした1歳児育児体験事業(1歳児come☆かむ広場)を、平成28年度から実施したことにより、望ましい育児の方法を理解し、家庭での実践につながっていることが、要因の1つと考えられます。</p>									



□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 食育の推進

指標①	朝食を食べている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	71.8	72	73.9	➔
評価	<p>(状況)平成29年度は73.9%で、平成28年度より1.9ポイント増加、後期基準値より2.1ポイント増加しています。                  (原因)後期基準値との比較では、20歳代で4.1ポイント増加していることから、若い年代で生活習慣が改善されてきていることが要因と考えられます。平成28年度との比較では、60歳以上の各年代で80%を超え順調に推移しており、30歳代及び40歳代の若い年代でも向上しています。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業04 食育の推進

指標②	主食、主菜、副菜のそろった食事をとっている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康課	%	46.5	47.5	51.4	➔
評価	<p>(状況)平成29年度は51.4%で、平成28年度より3.9ポイント増加、後期基準値より4.9ポイント増加しています。                  (原因)60歳未満の各年代では低い割合での推移となっていますが、60歳以上では年代が上がるにつれ割合が高くなり順調に推移しています。60歳以上の市民が健康のためにバランスの良い食事を意識し、実践していることが要因であると考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業04 食育の推進

指標③	朝食を毎日食べている小学6年生の割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	89.4	88.1	87.4	➔
評価	<p>(状況)平成29年度は87.4%で、平成28年度より0.7ポイント減少、後期基準値より2.0ポイント減少の横ばい状態です。                  (原因)平成28年度と比較して「まったく食べていない」が0.6ポイント、「あまり食べていない」が1.4ポイント増加しており、ライフスタイルや価値観の多様化に伴う生活習慣の影響が、要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (中)

基本事業04 食育の推進

指標④	朝食を毎日食べている中学3年生の割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	健康課	%	84.5	83.1	82.9	➔
評価	<p>(状況)平成29年度は82.9%で、平成28年度より0.2ポイント減少、後期基準値より1.6ポイント減少の横ばい状態です。                  (原因)平成28年度と比較して、「まったく食べていない」が0.7ポイント減少したものの、「あまり食べていない」が1.5ポイント増加しており、ライフスタイルや価値観の多様化に伴う生活習慣の影響が、要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 医療体制の充実

指標 ①	塩釜地区休日急患診療センター等の受診者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																
		代替	業務取得	その他	健康課	人/年	1,683	1,491	1,497	—															
評 価	<p>(状況) 平成29年度は1,497人で、平成28年度より6人増加、後期基準値より186人減少しています。受診者の内訳は、休日1,199人、土曜日準夜帯175人、歯科123人となっています。</p> <p>(原因) インフルエンザ等の流行性疾患や気候変動により受診者数は毎年増減しますが、日曜、祝日などに急病となった市民は、応急の初期診療を適切に受けることができます。</p>																								
							<table border="1"> <caption>受診者数推移 (人/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,683</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,491</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,497</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受診者数	H26	1,683	H27	1,420	H28	1,491	H29	1,497	H30	-	H31	-	H32	-
年度	受診者数																								
H26	1,683																								
H27	1,420																								
H28	1,491																								
H29	1,497																								
H30	-																								
H31	-																								
H32	-																								



政策 02 元気で健やかに暮らせるまち

施策 03 子育て支援の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
子どもとその保護者	安心して子どもを育てられる環境が整っています。

施策の成果状況と評価

指標	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①	子育て支援課			%	66.9	68.4	71.4	➔	☀ (横ばい)
	中学生以下の子どもを持つ保護者対象								
評価	<p>(状況) 平成29年度は71.4%で平成28年度より3ポイント、後期基準値より4.5ポイント増加しており順調です。                      (原因) 子ども・子育て支援新制度開始後、教育・保育施設の整備や子育てサポートセンター等の子育て支援拠点が充実していることが、要因の1つと考えられます。一方で、医療費助成制度や歩道の整備等の社会基盤全般への意見も寄せられていることから、施策を超えた総合的な取組も必要と考えられます。</p>								目標 達成度
指標	この地域で、今後も子育てしていきたいと思う保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
②	子育て支援課			%	-	95.2	96.9	➔	☀ (横ばい)
	3歳児の子どもを持つ保護者（3歳児健診時のアンケート調査）								
評価	<p>(状況) 平成29年度は96.9%で平成27年度より2.5ポイント、平成28年度より1.7ポイント増加し、高い実績値を維持し、順調です。                      (原因) この指標は、3歳児健診時の調査によるもので、乳幼児をもつ保護者は子育てをする上で住みやすいまちと捉えていることが要因と考えられます。「そう思わない(0.5%)」「どちらかと言えばそう思わない(2.6%)」と回答した方でも、育児支援サービスの利用や相談などができていることから、この地域での子育てに対する希望が高いと考えられます。</p>								目標 達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 就学前の教育・保育施設等の充実

基本事業 02 地域における子ども・子育て支援の充実

基本事業 03 子育ての不安の解消

基本事業 04 子育ての経済的負担の軽減

基本事業01 就学前の教育・保育施設等の充実

指標 ①	教育・保育施設等の待機児童数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	保育課	人	72	29	66	0
各年度4月1日現在の数値です。国定義務待機児童数とは異なります。									
評価	<p>(状況) 平成29年4月1日現在の待機児童数は66人で、平成28年4月1日時点より37人増加していますが、後期基準値より6人減少しており、横ばいです。</p> <p>(原因) 未就学児童の人口はほぼ横ばいであるものの、申込者数は増加しており、就労する母親の増加などにより保育需要が増加傾向にあることが要因と考えられます。</p> <p>平成29年4月に開設予定だった認可保育所1か所が事業者の都合により取下げとなったこともあり、平成28年度に比べ待機児童数が増加しています。</p>								
	<p>目標達成度: (低)</p>								

基本事業01 就学前の教育・保育施設等の充実

指標 ②	教育・保育施設等の定員数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	保育課	人	900	1,201	1,208	1,452
各年度4月1日現在の数値です。									
評価	<p>(状況) 平成29年4月1日現在の定員数は1,208人で、平成28年4月1日より7人、後期基準値より308人増加しており順調です。</p> <p>(原因) 早期の待機児童解消を目指して、積極的に教育・保育施設等の整備を行ったことが要因です。</p> <p>平成28年度に小規模保育事業所1か所の定員数が19人から12人に減少しましたが、認定こども園1か所の増改築を行ったことにより3歳未満児の定員数が6人から20人に増加したことで、微増となりました。</p>								
	<p>目標達成度: (低)</p>								

基本事業01 就学前の教育・保育施設等の充実

指標 ③	地域型保育事業の数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	保育課	箇所	0	7	7	6
各年度4月1日現在の数値です。									
評価	<p>(状況) 平成28年4月時点で地域型保育事業は7か所となっており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 早期の待機児童解消を目指して、待機児童数の多い3歳未満児を受け入れる施設として積極的に整備を行ったことが要因です。</p>								
	<p>目標達成度: (達成)</p>								

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ①	市の子育て相談ができる場を知っている保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	子育て支援課	%	—	90.1	90.2	→
小学生以下の子どもを持つ保護者対象									
評価	<p>(状況) 平成29年度は90.2%で、平成28年度より0.1ポイント増加しており、高い状態を維持し順調です。</p> <p>(原因) 小学生以下のお子さんがある保護者アンケートで、「子育ての相談ができる場」として、どの地域にも偏りなく、子育てサポートセンター、児童館、保育所、幼稚園、市の相談窓口の順(複数回答可)になっています。妊娠期から保健師による関わりや、子育てサポートセンター、保育所、幼稚園、放課後児童クラブなど成長過程で相談できる場があることが要因の一つと考えられます。</p>								
	<p>目標達成度: (高)</p>								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ②	地域子育て支援拠点箇所数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	子育て支援課	箇所	3	3	3	4	
評 価					(箇所)					☁ (横ばい)
	<p>(状況) 平成29年度は、子育てサポートセンター、鶴ヶ谷児童館及び西部児童センターの3か所で開催しており、後期基準値及び平成28年度の現状を維持し、横ばいです。 (原因) 子育て支援拠点3か所の連携の仕組みづくり、母子包括支援事業と連携した子育て世代包括支援センターとしての仕組みづくり、基幹保育所を子育て支援拠点として位置づけ、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の強化を行う仕組みづくりをしていることが要因です。</p>									■ (中)

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ③	放課後児童クラブの入級可能定員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	子育て支援課	人	320	480	600	566	
評 価					(人)					☀ (向上)
	<p>(状況) 平成29年度の入級可能定員数は600人で、後期基準値より280人、平成28年度より120人増加し後期目標値を達成しており順調です。 (原因) 子ども・子育て支援事業計画に則り、後期基準値から7支援単位施設整備を行い、入級可能定員数を増やしたことが要因です。平成28年度は多賀城東小学校、城南小学校の2校3支援単位の施設整備を行い、平成29年度より15支援単位となったことが、要因です。</p>									■ (達成)

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標 ④	一時預かり・病後児保育の利用可能定員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	保育課	人	8,660	11,447	11,362	12,140	
評 価	各年度4月1日現在の数値です。				(人)					☀ (向上)
	<p>(状況) 平成29年度の地域の子どもの対象とした一時預かり・病後児保育の利用可能な年間延べ定員数は11,362人で、平成28年度より85人減少していますが、後期基準値より2,702人増加しており順調です。 (原因) 平成28年4月に子育てサポートセンターで一時預かり事業を開始したことが大きな要因です。</p>									■ (低)

基本事業03 子育ての不安の解消

指標 ①	自分の子ども（乳幼児）に対して、育てにくさを感じている乳幼児を持つ保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	下がると良い	子育て支援課	%	—	30	22	→	
評 価	3歳児の子どもを持つ保護者（3歳児健診時のアンケート調査）				(%)					☀ (向上)
	<p>(状況) 平成29年度は22%で、平成28年度より8ポイント大きく減少し、順調です。 (原因) 「育てにくさを感じる」22%のうち、「いつも感じる」が0.7%で1.7ポイント、「時々感じる」が21.2%で平成28年度より6.4ポイント減少しています。アンケート結果からは、「不安、疲れる」という思いの一方、「楽しい、かわいい、しあわせ」という思いが交錯しており、悩みや不安を抱えながら、周りの協力やさまざまな社会資源を利用できていることが要因の一つと考えられます。</p>									■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 子育ての不安の解消

指標 ②	家庭児童相談人数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子育て支援課	人	355	218	227	—	—
評価	<p>(状況) 平成29年度は227人で、後期基準値より128人減少し、平成28年度より9人増加しています。                      (原因) 相談内容としては、「虐待」に関する相談は98人で、平成28年度より8件増加しています。増加の要因としては心理的虐待(面前DV)による警察からの通告が増加しています。後期基準値からの減少につきましては、児童発達支援センターや子育てサポートセンターなど相談内容別の専門的な相談箇所が周知されたことにより、相談者が分散されたことが要因の一つと考えられます。</p>								目標 達成度	
									—	

基本事業03 子育ての不安の解消

指標 ③	家庭児童相談件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子育て支援課	件	5,446	5,666	3,794	—	—
評価	<p>来所、訪問、電話等で相談対応を行っています。                      (状況) 平成29年度は3,794件で、後期基準値より1,652件、平成28年度より1,872件減少しています。                      (原因) 相談人数は増加しているものの、相談件数が減少しています。これは、より効果的な支援のため相談対応ネットワークが拡充されたことが件数減少の要因の一つと考えられます。</p>								目標 達成度	
									—	

基本事業04 子育ての経済的負担の軽減

指標 ①	子育て経済負担の軽減総額				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子育て支援課	百万円	1,592	1,514	1,519	—	—
評価	<p>年度内の軽減総額                      (状況) 平成29年度は約15億19百万円で、後期基準値より73百万円減少し、平成28年度より5百万円増加しています。                      (原因) 平成28年度からの増加については、子ども医療費の助成対象年齢を平成29年10月から高校3年生まで拡大したことが要因と考えられます。また、後期基準値からの減少については、児童数の減少が要因の一つと考えられます。</p>								目標 達成度	
									—	

政策 02 元気で健やかに暮らせるまち

施策 04 高齢者福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
高齢者	高齢者が自立し、健康に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自立高齢者の割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																								
	成果	業務取得	上がると良い							介護福祉課																							
				%	83.7	84.3	84.4	82	☀ (横ばい)																								
評価	<p>(状況) 平成29年度は84.4%で、後期基準値より0.7ポイント、平成28年度より0.1ポイントそれぞれ増加となり、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国的に高齢化が進んでおり、本市においても同様の傾向であるため、指標値の自然減が想定されていますが、介護予防事業(新総合事業)の推進により、抑制が図られたことが要因と考えられます。</p>				<table border="1"> <caption>自立高齢者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>83.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>84.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>84.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>84.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	83.7	-	H27	84.3	-	H28	84.4	-	H29	84.4	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	82	目標 達成度
	年度	実績値 (%)	目標値 (%)																														
H26	83.7	-																															
H27	84.3	-																															
H28	84.4	-																															
H29	84.4	-																															
H30	-	-																															
H31	-	-																															
H32	-	82																															
									🏰 (達成)																								



□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 生きがい活動の推進
- 基本事業 02 介護予防の推進
- 基本事業 03 日常生活の支援
- 基本事業 04 地域包括ケアの充実
- 基本事業 05 認知症対策の推進

**基本事業01 生きがい活動の推進**

<b>指標</b>	生きがいを持っている高齢者の割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	<b>①</b>	成果	市民アンケート	上がると良い	介護福祉課	%	83.1	84.6	85.7	➔
<b>評価</b>	(状況) 平成29年度は85.7%で、後期基準値より2.6ポイント、平成28年度より1.1ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 「運動・スポーツ」に生きがいを感じる割合が36.7%で、計画期間を通じて最も多く、平成28年度からの増加幅が6.4ポイントで他の選択肢より大きくなっています。さらに年齢別でみると、特に75歳以上での「運動・スポーツ」に生きがいを感じる割合が初めて4割を超え41.9%であったことから、体を動かすことに生きがいを見出す元気な高齢者の増加が、成果向上の大きな要因と考えられます。					(%)				☀ (横ばい)
										目 標 達成度  🏰 (達成)

**基本事業02 介護予防の推進**

<b>指標</b>	介護保険の認定を新たに受けた市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	<b>①</b>	成果	業務取得	その他	介護福祉課	%	3.5	3.3	3.4	4
<b>評価</b>	(状況) 平成29年度は3.4%で、平成28年度より0.1ポイント増加していますが、後期基準値より0.1ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 介護予防教室等への延べ参加人数が平成28年度の6,523人から平成29年度は274人増加し6,797人となったほか、介護予防サポーターも増加する等、地域で活動する高齢者が増加したことから、定期的な運動等をするきっかけが増え、健康が維持されたことが、要因と考えられます。					(%)				---
										目 標 達成度  ---

**基本事業02 介護予防の推進**

<b>指標</b>	介護予防のための行動平均実践項目数 (65歳以上の高齢者)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	<b>②</b>	成果	市民アンケート	上がると良い	介護福祉課	項目	6.6	7.14	7.39	➔
<b>評価</b>	(状況) 平成29年度は7.39項目で、後期基準値より0.79項目、平成28年度より0.25項目増加しており、順調に推移しています。 (原因) 地域における介護予防活動が広く展開されるように各種支援事業の一部について、対象範囲を拡大する等の見直しを実施したことにより、利用が増加したことが要因と考えられます。					(項目)				☀ (向上)
										目 標 達成度  🏰 (達成)

**基本事業03 日常生活の支援**

<b>指標</b>	新しい介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	<b>①</b>	成果	業務取得	その他	介護福祉課	人/年	-	365	436	600
<b>評価</b>	(状況) 平成29年度の新総合事業に係る介護予防・生活支援サービスの利用者数は、436人となっており、平成28年度より71人増加しています。 (原因) 高齢者の増加に加え、新総合事業の開始に伴い導入された「基本チェックリスト」での簡易な審査により、事業対象者として、従来の介護認定を受けずにサービス利用が可能となったことも要因と考えられます。					(人/年)				---
										目 標 達成度  ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 地域包括ケアの充実

指標 ①	連携している在宅医療機関、介護事業所の数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	箇所	—	39	55	➔
評価	実績値は、平成28年度を初年度とする累計です。 (状況) 平成29年度は55か所で、平成28年度より16か所増加しています。 (原因) 指標値は、事業所間の情報共有を図るために開催している多職種向け研修への延べ参加事業所数としています。研修テーマを医療だけではなく、介護側の視点も取り入れる等、相互に関心を持つ内容としたことが、増加の要因と考えられます。								(向上) 目標達成度 —

基本事業05 認知症対策の推進

指標 ①	認知症の方への対応方法を知っている市民数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	人	920	1,784	2,479	3,770
評価	認知症サポーター養成講座の受講者数(累計) (状況) 平成29年度は2,479人で、後期基準値より1,559人、平成28年度より695人増加しています。 (原因) 一般市民や企業向けの出前講座について、講師を依頼しているキャラバン・メイトと連携し、積極的に講座を実施していることや、平成27年度から継続実施している中学生向け講座の実施校が拡大したことで、認知症を理解する方が増えてきたことが要因と考えられます。								(向上) 目標達成度 ■■■ (高)



政策 02 元気で健やかに暮らせるまち

施策 05 障害者（児）福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
障害者（児）とその家族	障害者（児）がその適性や能力に応じて、安心して暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	障害者（児）がその適性や能力に応じて、安心して暮らしていると思う割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	社会福祉課	%	60.6	—	62.8	➔
評価	障害者福祉計画策定時実施のアンケートによる取得数値								☀ (横ばい)
	(状況) 平成29年度は62.8%で、後期基準値より2.2ポイント増加しています。 (原因) 平成27年度に開所した児童発達支援センターや平成29年度に整備した地域生活支援拠点により、障害者に対する支援体制を拡充したことで、地域で安心して暮らしていると思う方が増加していることが要因と考えられます。								■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 自立支援の推進

基本事業 02 地域生活支援事業の利用促進

基本事業 03 児童発達支援の充実

基本事業 04 各種手当給付・医療費等助成事業の充実

基本事業01 自立支援の推進

指標 ①	自立支援給付の延べ利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課						
					人/年	720	1,014	1,091	—	
評価	<p>(状況) 平成29年度は1,091人であり、後期基準値より371人、平成28年度より77人増加しており、障害者のサービス利用が進んでいます。                      (原因) 障害者の人数増によって、全体的にサービス利用が増加していることが要因です。特に、放課後デイサービス利用者数が増加しており、サービス利用に必要となる計画相談件数も増加しています。</p>								目標 達成度	
					—					

基本事業01 自立支援の推進

指標 ②	入所施設から地域生活へ移行した人数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課						
					人/年	0	0	1	—	
評価	<p>(状況) 平成29年度は1人が入所施設を退所し、地域生活へ移行しています。                      (原因) 障害児入所施設に入所していた障害児が18歳に到達したことにより、地域社会での集団生活を行うグループホームへ地域移行したことが要因です。</p>								目標 達成度	
					—					

基本事業02 地域生活支援事業の利用促進

指標 ①	地域生活支援事業の延べ利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課						
					人/年	11,432	11,238	10,278	—	
評価	<p>(状況) 平成29年度は10,278人で、後期基準値より1,154人、平成28年度より960人減少しています。                      (原因) 就労等への移行による地域活動支援センター利用者数の減少及び相談回数が多い利用者が入院等したことによる相談件数の減少が主な要因と考えられます。</p>								目標 達成度	
					—					

基本事業03 児童発達支援の充実

指標 ①	適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	社会福祉課						
					%	—	100	100	➔	
評価	<p>児童発達支援利用者対象のアンケート指標です。                      (状況) 平成29年度も引き続き、100%となっています。                      (原因) 児童発達支援センターの利用児童に対し、個別支援計画を作成し適切な療育を行っていることが要因と考えられます。</p>								目標 達成度	
					(横ばい) (達成)					

□基本事業の成果状況と評価

**基本事業03 児童発達支援の充実**

指標 ②	発達相談を受けた児童の数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	人/年	74	144	147	—	—
評 価	(状況) 平成29年度は147人で、後期基準値より73人、平成28年度より3人増加しています。 (原因) 平成27年度に児童発達支援センターが開設したことが、要因と考えられます。相談者数が増加していますが、制度周知も進み、平成28年度との比較からは、利用状況が安定してきたことも窺えます。				(人/年) 					目 標 達 成 度
					—					

**基本事業04 各種手当給付・医療費等助成事業の充実**

指標 ①	延べ特別障害者手当等給付件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	件/年	887	801	734	—	—
評 価	(状況) 平成29年度は734件で、後期基準値より153件、平成28年度より67件減少しています。 (原因) 受給者が死亡等のため減少したことが要因です。				(件/年) 					目 標 達 成 度
					—					

**基本事業04 各種手当給付・医療費等助成事業の充実**

指標 ②	延べ医療費助成件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	国保年金課	件/年	26,571	27,756	28,346	—	—
評 価	(状況) 平成29年度は28,346件で、後期基準値より1,775件、平成28年度より590件増加しています。 (原因) 心身障害者の医療費助成制度に優先し適用されていた、東日本大震災の被災者に対する医療費一部負担金免除制度のうち、心身障害者医療費助成制度の受給対象者の半数以上を占めていた後期高齢者医療保険被保険者に対する一部負担金免除制度が、平成27年度をもって終了したため、平成28年度以降助成件数が大幅に増加していることが要因と考えられます。				(件/年) 					目 標 達 成 度
					—					



**政策 02 元気で健やかに暮らせるまち**

**施策 06 社会保障等の充実**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民	社会保障制度等により、市民の生活基盤が確保されています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	—			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
			その他						
	国の政策等の影響が大きいため成果指標は設定していません。								
評 価									目 標 達 成 度
									---



□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 保険制度の適正な運営
- 基本事業 02 生活保護者（世帯）への自立支援
- 基本事業 03 公営住宅の充実
- 基本事業 04 被災者への生活再建支援
- 基本事業 05 生活困窮者への自立支援
- 基本事業 06 介護保険サービスの適切な利用

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標	国民健康保険税の現年度収納率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課						
①					%	93	94.1	94.4	91.2	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">☀️ (向上)</div> <div style="margin-bottom: 5px;">📊 目標達成度</div> <div style="margin-bottom: 5px;">🏠 (達成)</div> </div>
評価	<p>(状況) 平成29年度は94.4%で、後期基準値より1.4ポイントの増加、平成28年度より0.3ポイントの増加となり、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成29年度は、平成28年度に引き続き、低所得者層に対する軽減措置の拡充を実施したことにより、保険税負担の軽減が図られたことなどが要因と考えられます。</p>									

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標	介護保険料の現年度収納率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課						
②					%	99	99.2	99.2	98	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">☀️ (横ばい)</div> <div style="margin-bottom: 5px;">📊 目標達成度</div> <div style="margin-bottom: 5px;">🏠 (達成)</div> </div>
評価	<p>(状況) 平成29年度は99.2%で、平成28年度と比較して増減ありませんが、後期基準値より0.2ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 震災による利用者負担の減免や平成27年度から低所得段階（第1段階）の被保険者に対する軽減措置の実施により、保険料負担の軽減が図られたことなどが、要因と考えられます。また、収納担当課における未納対策強化も要因の1つと考えられます。</p>									

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標	後期高齢者医療保険料の現年度収納率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課						
③					%	99.5	99.6	99.3	99.3	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">☁️ (横ばい)</div> <div style="margin-bottom: 5px;">📊 目標達成度</div> <div style="margin-bottom: 5px;">🏠 (達成)</div> </div>
評価	<p>(状況) 平成29年度は99.3%で、後期基準値より0.2ポイントの減少、平成28年度より0.3ポイントの減少ですが、後期目標値は達成しています。</p> <p>(原因) 平成29年度は、平成28年度に引き続き、低所得者層に対する軽減措置の拡充を実施したことにより、保険料負担の軽減が図られたことなどによるものと考えられます。</p>									

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標	1人当たり医療費				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	国保年金課						
④					円/年	332,887	367,981	374,251	388,000	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">---</div> <div style="margin-bottom: 5px;">📊 目標達成度</div> <div style="margin-bottom: 5px;">---</div> </div>
評価	<p>(状況) 平成29年度は374,251円で、後期基準値より41,364円、平成28年度より6,270円、1.7%増加しています。</p> <p>(原因) 平成29年度は平成28年度に引き続き東日本大震災被災者への医療費一部負担金免除を継続したこと、高齢者の加入割合が高くなっていることが、要因と考えられます。</p>									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 生活保護者（世帯）への自立支援

指標 ①	自立による生活保護廃止世帯数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生活支援課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				世帯	25	26	43	100		(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)
	(状況) 平成29年度は17世帯が廃止となり、廃止世帯数累計は43世帯となりました。 (原因) 就労支援員を配置し、ハローワーク等への同行などを実施していますが、就労支援には時間を要することから、大きな成果向上に至っていないと考えられます。										

基本事業03 公営住宅の充実

指標 ①	市営住宅に入居し住宅が確保された世帯数（入居世帯数）（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	代替	業務取得	上がると良い	都市計画課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				世帯	6	14	29	50		(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)
	(状況) 平成29年度は29世帯で、平成28年度より15世帯増加、後期基準値より23世帯増加しています。 (原因) 民間賃貸住宅より安価である市営住宅のニーズは増加傾向にあり、入居率はほぼ100%で推移している中では、現入居者の退去がなければ待機者の入居ができないことが要因と考えられます。										

基本事業03 公営住宅の充実

指標 ②	施設維持管理上の苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	都市計画課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				件/年	65	36	6	60		(向上) 目標達成度 ■■■ (達成)
	(状況) 平成29年度は6件で、後期基準値より59件、平成28年度より30件減少しています。 (原因) 宮城県住宅供給公社への管理代行としていることで、修繕等に迅速に対応できていることが要因と考えられます。										

基本事業04 被災者への生活再建支援

指標 ①	加算支援金申請割合（住宅再建）（基礎支援金ベース）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生活支援課							
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				%	86.6	94.7	95.9	95		(向上) 目標達成度 ■■■ (高)
	(状況) 平成29年度は95.9%で、平成28年度より1.2ポイント増加し、後期目標を達成しています。 (原因) 加算支援金未申請世帯にアンケート調査を実施し、その結果から、電話や訪問を通じて再建方針に応じた案内を行ったことが要因と考えられます。										

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 被災者への生活再建支援

指標②	仮設住宅（民間賃貸を含む）入居世帯数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活支援課	世帯	968	2	0	0
評価	(状況) 平成29年度は0世帯となっており、計画どおり平成29年度をもって仮設住宅の供与を終了しました。 (原因) 災害公営住宅の完成及び宮内土地区画整理事業の完了に伴い、計画どおり全ての入居世帯において供与が終了したことが要因です。								

基本事業04 被災者への生活再建支援

指標③	被災者の災害公営住宅への入居割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	都市計画課	%	30.1	99.6	100	100
評価	(状況) 平成28年度に入居が完了し、平成29年度は100%となっています。 (原因) 平成28年12月の宮内住宅の完成により、市内全ての災害公営住宅の整備が完了し、全532戸に入居が完了しました。								

基本事業05 生活困窮者への自立支援

指標①	支援により課題が解決した人数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活支援課	人	—	120	222	840
評価	(状況) 自立相談支援窓口の支援により、平成29年度は102人が課題解決し、累計は222人となりました。 (原因) 長期的な計画に基づいた継続支援を行っていることが増加の要因と考えられます。一方で、年々複雑な課題を持った相談が増加し、単年度での解決が困難となっていることが、大きな成果向上に至らない要因と考えられます。 なお、生活困窮者自立支援制度に伴い、平成27年度から自立相談支援窓口を設置し、相談・支援を行っています。								

基本事業06 介護保険サービスの適切な利用

指標①	施設サービスを利用している市民数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	介護福祉課	人	290	431	433	463
評価	(状況) 平成29年度は433人で、後期基準値より143人、平成28年度より2人増加しています。 (原因) 施設サービス事業所について、介護保険事業計画に基づき誘致できていることが挙げられ、平成29年度においても認知症対応型生活介護施設(グループホーム、定員27人)が7月に開所したことが、要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 介護保険サービスの適切な利用

指標 ②	介護サービス事業者・施設への実地指導件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護福祉課	件/年	1	4	3	3
評 価	(状況) 平成29年度は3件で、平成28年度より1件減少しているものの、後期基準値より2件増加しています。 (原因) 計画的な実施に努めていることが、要因です。			(件/年) 					